

図書館通信

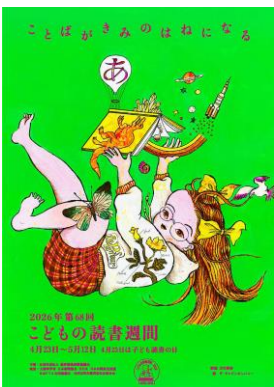
最上校図書委員会 No.2 4月20日



4月23日・子ども読書の日

「物語は 偶然の一冊からはじまった」

2026年4月23日～5月12日



第68回こどもの読書週間 「ことばが きみのはねになる」

広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、制定されました。子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、誕生した取り組み

で、子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えましょうという取り組みでもあります。ぜひ、この機会に本を読んでみましょう。



読書週間！ 高校生に贈る読書のすすめ！



★図書館から、いろいろなジャンルのおすすめの本を紹介します。

『大河の一滴 最終章』 五木寛之著

93歳の人間論。人は何かのために生きるのではない。誰かのために生きるのだ。常に、再生の希望はある。少年時代の引揚体験、自死への欲求、思いがけない病の宣告。あえて、大河の流れに逆らうことを決意した、告白的人間論。

『心地よい自分が見つかる101の質問』 小林弘幸著

使い方はシンプル。仕事の合間に、通勤途中に、寝る前に、最初から順番に読んでも、ランダムに1ページ開く→問いに答える→小さな一歩を試すでもOK。これだけで、心身が自然と整っていきます。大事な人へのプレゼントにも最適。

『100日後に英語がものになる』

1日10分 ネイティブ英語』 プレット・リンゼイ著

「書く」はインプットとアウトプットが同時に起きる語学習得に最適の方法です！

『子どもの絵の見方、育て方』 鳥居昭美著

乳児期のなぐり書きから、丸で描く絵に意味づけがはじまり、6~7歳には正面向きの絵から立体的な三次元の絵へ。身体の機能やこととことばの発達に沿って変化していく子どもの絵をどう理解し、育てていくかを作品を見ながら分かりやすく解説。

『はじめての俳句』 上野貴子著

感じたままに詠める「作句のコツ」を入門から実践まで、やさしく解説します。

『図書館づくり アイディア100』 勝呂由紀著

学校図書館をもっと心地よく、もっと使いやすく。ちょっとした工夫で図書館が変わる！一つひとつは手軽な取り組みですが、積み重ねによって図書館は心地よい場所になり、図書委員の仕事の効率もアップする。



図書委員会企画のお知らせ！

図書貸出カードの発行

”ゲーム感覚ですすめる、未知の本への誘い”

昨年度と同様、読書カードを発行します。

多様な本に手を伸ばせるように、いろいろなジャンルの作家や本を読むきっかけになればと読書カードを作成しています。

ぜひ、活用してみてください。詳しくは、各学年の図書委員に問い合わせ下さい。昼休み、放課後は、カードを持って、**図書館へ**

※10冊借りるごとに、**プレゼント進呈！**

令和8年度 図書貸出カード



※いろいろなジャンルや作家の本を読んでみよう！

氏名

年

番

読書週間におすすめの新刊!



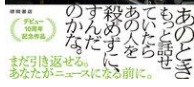
『マスカレード・ライフ』 東野圭吾著

警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が、お客様の安全確保を第一に新たな活躍をみせる!



『今日未明』 辻堂ゆめ著

新聞の片隅にしか載らない、小さな5つの事件。その裏には、報道されない真相がある。慟哭の犯罪ドラマ!



『永遠猫の祝福』 清水晴木著

奇跡の猫が、人々の生と死に寄り添い、生き方と死に方、生き様と死に様について、大切なことを教えてくれる物語。



『まる丸伊勢参り』 畠中恵著

己の居場所が見つからない九郎と、大店の財を継ごうとしている結が、明日を懸けて東海道を西へ行く!



『じゃないほうの歌いかた』 佐々木愛著

落合南長崎のカラオケ店「BIG NECO」では、今日もドラマが巻き起こる。うだつのあがらない凡人たちが起こす、ちょっとした人生の奇跡ときらめき。

『8番出口』 川村元気著

映画と小説でもループに迷い込むこと必至の極上エンターテインメント作品!



『殺し屋の営業術』 野宮有著

契約成立。鳥井は、殺人請負会社に入社することに。命がけの営業が始まる。常識を覆す発想から走り出すジェットコースター・ミステリー!



『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ著

ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側。世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす物語の功罪を炙り出す。

『おまえレベルの話はしていない』 芦沢央著

夢を叶え孤独に壊れ続ける芝と、夢を諦めて社会的には成功した大島。夢に青春を食われた二人の、身をよじるほどの嫉妬、羨望、そして侮蔑。暗い激情の奔流に飲み込まれる著者の最高傑作!

『探偵小石は恋しない』 森バジル著

相変わらず色恋案件ばかり、かと思いきや、相談員の蓮杖と小石が意外な真相を目の当たりにする裏で、思いもよらない事件が進行して?

『エピクロス処方箋』 夏川草介著

「医療では、人は救えないんだよ」
現役医師が描く、人の命と幸福について。

『高宮麻綾の退職願』 城戸川りょう

新たなビジネスを仕掛けようと奮闘するが、早々にパワハラ疑惑をかけられてさらに、次なる敵は産業スパイ!?

『救われてんじゃねえよ』 上村裕香著

沙智は、難病の母を介護しながら高校に通う17歳。誰かの力を借りなきゃ、笑えなかった。

そんな彼女を生かしたのは、くだらない奇跡だった。

『星がすべて』 最果夕ヒ著

私の心のかげらが星座になる。

詩とエッセイと物語が織りなす、手のひらの中の天体詩鑑。

『さよならジャバウォック』 伊坂幸太郎著

自宅マンションの浴室で夫が倒れている。夫は死んだ、死んでいる。私が殺したのだ。途方に暮れていたところ、2週間前に近所ではったり会った大学時代のサークルの後輩・桂凍朗が訪ねてきた。「量子さん、問題が起きていますよね? 中に入れてください」と。

